

2025（令和7）年度

京都大学大学院教育学研究科
修士課程（研究者養成プログラム）
外国人留学生特別選抜
入学試験問題

※出願者または第1次試験合格者のなかったコース（分野）に対応する専門科目は、第2次試験が実施されなかったので掲載していません。

2 0 2 5 年 度

京都大学大学院教育学研究科

修士課程（研究者養成プログラム）外国人留学生特別選抜

入学試験問題

専 門 科 目

②教育史学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

②教育史学

問題 I

資料 I は、菊池謙二郎編『危険視せられし道德論と辞職顛末』（1921年）に掲載されたものである。菊池は水戸中学校の校長であったが、1921年にいばらき新聞社主催で行った講演「国民道德と個人道德」の内容が物議をかもし、水戸中学校長の職を辞すことを迫られた。資料 I は、菊池が辞職後にあらためて自分の講演の意図を説明した文章「余の講演は果して危険性を包含するか」の一部である。資料 I を読んで以下の問いに答えなさい。（計60点）

- (1) 傍線部ア「かの博士達」は明治末から大正期にかけて国民道德論を鼓吹した学者を指す。そこで想定されている代表的学者2名の名前を記しなさい。（10点）
- (2) 傍線部イ「祖先の血統を重んずること、祖先の遺志を重んずること、祖先の偉徳を慕ふことは一般国民に通じて行はるべきもの」という論を、菊池はどのような意味で批判しているのか。資料の内容にそくして記しなさい。（15点）
- (3) 傍線部ウ「日本の家族と西洋の家庭とは殆んど同じである」と菊池はどのような意味で述べているのか。資料の内容にそくして記しなさい。（15点）
- (4) 菊池による国民道德論批判には、どのような意義と問題点があると考えるか。あなたの考えを記しなさい。（20点）

問題Ⅱ

次の①～⑩の事項の中から4つを選び、それぞれ説明しなさい。

なお、選択した項目の番号を、必ず各解答文の冒頭に記すこと。

(40点：各10点)

①改正教育令

②徳富蘇峰

③石田梅岩

④C I E

⑤滝川幸辰

⑥閑谷学校

⑦官刻孝義録

⑧万国公法

⑨丁稚奉公

⑩台湾教育令

【問題文】

(問題文略—問題用紙 6 頁目の後掲〈注意〉を参照のこと)

資料
I

【問題文】

(問題文略—問題用紙 6 頁目の後掲＜注意＞を参照のこと)

【問題文】

(問題文略—問題用紙 6 頁目の後掲<注意>を参照のこと)

【問題文】

(問題文略―後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、菊池謙二郎編『危険視せられし道徳論と辞職顛末』一九二一年、五一八頁の5頁上段7行目～8頁上段5行目を引用した。

なお、傍線部アは5頁上段7行目の「かの博士達」を、傍線部イは5頁下段6～8行目の「祖先の血統を重んずること」から「通じて行はるべきもの」までを、傍線部ウは7頁下段15～16行目の「日本の家族と西洋の家庭とは殆んど同じである」を指す。

2 0 2 5 年 度

京都大学大学院教育学研究科

修士課程（研究者養成プログラム）外国人留学生特別選抜

入学試験問題

専 門 科 目

③教育方法学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

③教育方法学

次の2問に解答しなさい。

I. 次の英文を読んで、(1)(2)の問いに答えなさい (40点)。

(1) 次の英文の下線部を日本語に訳しなさい。

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、H. L. Erickson, L. A. Lanning, and R. French, *Concept-Based Curriculum and Instruction for the Thinking Classroom, 2nd Edition*, Corwin, 2017, p.15.の15頁2行目

「When we can rise」～13行目「across cultures, or across examples.」を引用した。

なお、下線部は15頁2行目～5行目の「When we can rise」から「at a conceptual level.」

までの文、15頁8行目～11行目の「Integration can occur」から「orders of think-ing.」

までの文を指す。

(2) 上記の英文で示されている思考のintegrationという考え方を、カリキュラムや指導の改善に活かす上での課題と展望について具体的に論じなさい。

II. 次の用語について説明しなさい。(60点)

(1) 生活綴方

(2) マスタリー・ラーニング

(3) パフォーマンス課題

2 0 2 5 年 度

京都大学大学院教育学研究科

修士課程（研究者養成プログラム）外国人留学生特別選抜

入学試験問題

専 門 科 目

⑤教育人間学・臨床教育学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑤教育人間学・臨床教育学

I Please read the following passage, and then answer the questions below:

1) How do you think John Dewey would view the current state of democracy around the world? You may either discuss a general trend or focus on a specific society. (50 points)

2) What role can education play in achieving the form of democracy suggested in the text? (50 points)

(Answer in either Japanese or English.)

【問題文】

(問題文略一問題用紙2頁目の後掲<注意>を参照のこと)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Higgins,S. (2016) 'Introduction: What Did John Dewey Think about *Democracy and Education* in 1916? And Does it Still Matter?', in S. Higgins and F. Coffield (eds) *John Dewey's Democracy and Education: A British Tribute*, pp.1-2. London: UCL-IOE Press.の1頁1行目～2頁18行目を引用した。

2025年度

京都大学大学院教育学研究科
修士課程（研究者養成プログラム）外国人留学生特別選抜
入学試験問題

2025 Entrance Examination for Foreign Students
Master's Course (Researcher Development Program),
Graduate School of Education, Kyoto University

専門科目
Specialized Subject

⑥教育認知心理学
⑥Cognitive Psychology in Education

注意 (Cautions)

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
Do not open this booklet until instructed.
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
Write your name, applicant number and applying course in each answer sheet. (Do not write anything where there is ※.)
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
Make sure to confirm that the problem sheet matches the subject you are applying for.
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
Use a separate answer sheet for each problem and write the problem number in Roman number within the box. If you will use both sides of the answer sheet, start from the other end so that the second sheet will become up side down, in relation to the first sheet.
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。
You may keep this problem sheet and scrap paper after the examination.

⑥教育認知心理学

Cognitive Psychology in Education

Answer each of the following questions (I, II, and III) in English or Japanese.

I. Describe a previously published psychological research study involving an experiment with human participants. Explain the ethical considerations and approvals that would have been required in such a study in connection to the specific method used.

(30 points)

II. Explain the definitions or meanings of all of the following words in psychology. For each one, provide at least 3-4 lines of explanation to show that you understand their definitions and meanings.

(40 points in total, 4 points for each)

1. altruism
2. Broca's area
3. extinction
4. joint attention
5. negative punishment
6. partial regression coefficient
7. productive failure
8. source monitoring
9. unilateral spatial neglect
10. zone of proximal development

III. Choose and answer one of the following two questions. Write the alphabet of your chosen question (a or b) before beginning your answer.

(30 points)

- (a) Explain the relationship between attention and memory based on cognitive psychology research.
- (b) Discuss biases in human thinking and their correction, as well as methods of education.

2025年度

京都大学大学院教育学研究科

修士課程（研究者養成プログラム）外国人留学生特別選抜

入学試験問題

専門科目

⑦臨床心理学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑦臨床心理学

- I 以下は、河合隼雄『心理療法序説』からの引用である。下線部について、以下の問いに答えなさい。(60点：各30点)

【問題文】

(問題文略―後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、河合隼雄(1992/2009). 心理療法序説 岩波現代文庫の2頁9行目～2頁11行目を引用した。

なお、下線部1)は「専門的な訓練」から「接近法によって」までを、下線部2)は「来談者の」から「発見的に歩む」までを指す。

- 1) 心理療法家の「専門的な訓練」として、どのようなものがあるか、そこでは何を求められているのかを論じなさい。また、ここでの「心理的な接近法」の意味するところを書きなさい。
- 2) 「来談者の全存在に対する配慮」とは、どのようなものか、そこではどのようなことが求められるかを論じなさい。また、ここでの「発見的に」の意味するところを書きなさい。

II. 以下の文章を日本語に訳しなさい。(40点)

【問題文】

(問題文略一後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Rogers, C.R. (1961). *On Becoming a Person: A Therapist's View of Psychotherapy*. Houghton Mifflin の 39 頁 14 行目～40 頁 22 行目を引用した。